

船舶事故調査報告書

平成22年10月28日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員行方不明
発生日時	不明（平成21年9月21日 16時00分ごろ～22日 09時36分ごろの間）
発生場所	不明（青森県野辺地町野辺地港北方沖1.1海里（M）付近～青森県東津軽郡平内町陸奥大島灯台北西方沖5.4M付近の間）
事故調査の経過	平成21年9月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で行方不明となったため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ムスタング、5トン未満 212-995 青森、個人所有 4.20m (Lr) × 1.89m × 1.01m、FRP ガソリン機関、36kW、昭和60年4月19日
乗組員等に関する情報	船長 男性 62歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和53年8月18日 免許証交付日 平成18年9月12日 (平成24年4月27日まで有効)
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、野辺地港北方沖で釣りをしていたが、平成21年9月21日16時00分ごろ、先に帰る知人等のプレジャーボート（以下「僚船」という。）と別れた。 船長の家族は、船長が夜になっても帰宅しなかったことから、翌22日警察に通報した。 本船は、海上保安庁の巡視船等による捜索の結果、22日09時36分ごろ陸奥大島灯台北西方沖において、無人で漂流しているところを発見されたが、船長は発見されず行方不明となった。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東～南、風力 1～2、気温 約15.1℃ ～約18.3℃ 海象：平穏、海面水温 約20.7℃
その他の事項	船長は、日ごろ、体調不良を訴えてはいなかった。 船長は、本事故の前々日と前日も釣りに出ている。 船長は、釣り竿を4本持って行ったが、船内には3本が残っており、そのうちの1本には餌が付いていた。

	<p>本船の定員は3人で、本船発見時、船内に4着の救命胴衣が残されており、うち3着は収納袋に入れて置かれていた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 なし</p> <p>本船は、船長が1人で乗船し、9月21日16時00分ごろ、野辺地港北方沖で僚船と別れ、翌22日09時36分ごろ、陸奥大島灯台北西方沖において、無人で漂流しているところを発見されていることから、この間において、船長が落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が野辺地港北方沖で僚船と別れた後、船長が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	